

発行所 愛媛県喜多郡 長浜町役場 印刷所 岸本印刷所

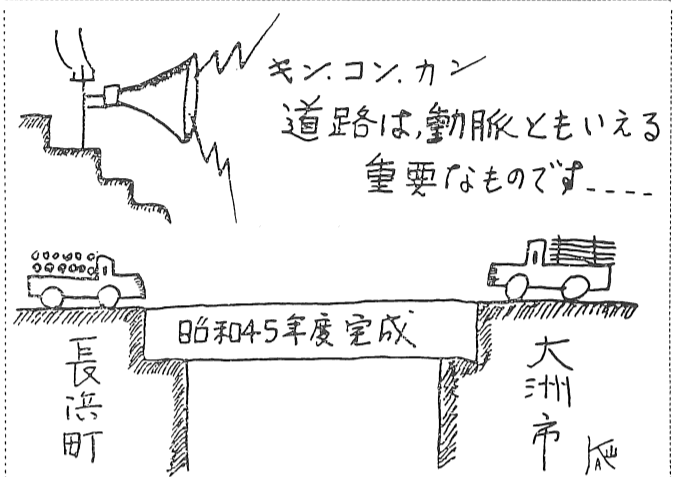
Table with 2 columns: Category (e.g., 9月の人口動態, 男, 女, 世帯数) and Value (e.g., 8,178, 8,838, 1,690).

町政展望

九月定例議会終る 議案十一件を可決

昭和三十九年度第三回長浜町議会定例会は、去る九月二十八日、午前十時から会議室で開かれまし...

この定例会には、十一件の議案が上程されましたが、いづれも原案の通り可決され、午後二時に閉会しました。以下、今回の町議会でまじったおもな事項です。



土木事業の円滑適正な推進を図るため、この条例ができました。町有財産貸付契約 共同選果場の建設敷地として、町有地一千...

町長の行政報告 道路は動脈だ 当町において、一番問題となっているのは、道路の問題です。大洲、長浜線は、当町に於いて、動脈ともいえる重要な路である。

登録の申し出 いつでもできます 補充選挙人名簿 今回、公職選挙法の一部が改正され、いままで、選挙があるたびに調整していましたが、補充選挙人名簿の登録申請の方法が、変わりました。

公共施設 公共物を大切に 十二月末日までに、白滝側の配管を終えて、来年の一月から三月にかけて、新規申し込みの配管を...

Table with 4 columns: Date (年月日), Item (寄付物件), Donor (寄付者), Purpose (目的). Lists donations for school equipment.

森川さんと藤岡さん 全国大会に出場する 大宇白滝の森川純行さんと、大字下須戒の藤岡 進さんのふたりは、十一月十七日から四日間、東京の国立競技場で開かれる、第十三回全国青年大会に、県代表選手として出場します。

遺族援護法が 改正されました

戦没者遺族援護法が改正され、つぎのような方が、恩典によくすることになりました。あなたに、どれかにあてはまりませんか？

一、元の軍人、軍属であった方が、戦没者遺族援護法が改正され、つぎのような方が、恩典によくすることになりました。

二、遺族一時金 十万円が支給されます。 (1) 昭和十二年七月七日以後、公務のために負傷し、病気になる

三、「遺族年金」が支給されます。 (1) 戦没者死亡後、昭和二十一年二月一日から昭和二十七年二月一日か

四、旧陸、海軍の判任など。 (1) 戦没者死亡後、昭和二十一年二月一日から昭和二十七年二月一日か

五、六十才未満の戦没者の父母など。 (1) 戦没者死亡後、昭和二十一年二月一日から昭和二十七年二月一日か

六、六十才未満の戦没者の父母など。 (1) 戦没者死亡後、昭和二十一年二月一日から昭和二十七年二月一日か

乗り物で 座席を ゆずりましょう

この大会は、健康で、文化的な生活を樹立し、生産に励み、新しい日本を建設するために開かれる、ものですが、森川純行さんは、陸上競技の一万メートル(タイム三十五分二十二秒八)県大会記録)また、藤岡 進さんは、走り幅とび(六メートル)県大会記録)の県代表選手です。

このふたりに、絶大な声援を送りましょう。

火災を防ごう

火の元に注意が第一

一番多いタバコの火

十一月ごろから、火気を多く使用する季節となりますので、火災が非常に多くなります。

また、気象条件も悪いので、大に火になりやすい季節です。

ことしも、十一月二十六日から十二月二日まで全国的に秋の火災予防運動が実施されます。

この運動は、恐しい火災を予防するため、火災予防思想の普及向上を推進し、国民の生命、身体、財産を火災から守り、社会公共の福祉の発展と国民経済の安定に資することを目的としていますが、今回の重点注意事項は、

- 1 燃焼器具などによる火災防止
- 2 事業場などの火災防止
- 3 消防用設備などの適正な維持管理
- 4 危険物施設の事故防止

となつております。

みなさんの協力で、町を火災から守りましょう。



恋人失格

「そんな
不用心な人
大ざら、い、い」

「母の日の作文」 入選発表 (6)

佳作

おかあさん
青島中学校一年

古中祥子

母は、父に早く死に別れられ、それから今まで、苦勞ばかりしている。

今は、松山の方へ働きに行つて、おかしには、東京の方へも働きに行つておられるように思われる。時々来る手紙には、わたしたち四人の子どもを、常に心配しながら、働いている様子が、手紙全体に書きこまれてくるのです。

そして、母のおい、ふうと、うの中ら、あふれるように、ただよつてくるのです。時々、道を歩いてみると、小さな子どもが、母にあまえているのを見ます。そんなとき、わたしも、母にあまえてみたくたります。

一年に、お正月と、おぼんだけに出でくる、お母さんのように、

3割は高血圧者 食事療法が大切 成人病検査が示すもの

先般、成人病の検診と、健康診査を行いました。

その結果は、つぎのとおり、(成人病の検診は、戒川と豊川)、そして、老人健康診査は、出雲、豊茂、下須成、白滝および戒川区で行いました。

1 受診者総数、三百二十二人。高血圧者、百四十四人。糖尿病の方、十一人。そして、じん臓のわるい方など、四人でした。

この検診の結果でもおわかりのように三分の一の方は、高血圧者です。

検診の時に、高血圧や肝臓がわるいといわれた方は、医師の治を受けると同時に、食事療法を行うことが大切です。

一、味は、薄味にいたしましょう。

二、肉類は、脂肪の少ない鳥肉を使い、魚類は、白身の魚で通より少なめに。

三、油は、植物性を使い、牛は、一日に二本(三百六十cc)飲み、野菜を多くたべましょう。

四、米は、七分米にしましょう。

五、からし、わさび、コーンそしてアルコール類をさげましょう。

早期発見、早期治療で、健康維持につとめましょう。

しらがが、あるだろうなあ。」とおもな母を思い出したので。

おなかをいためて、わたしは四人の子どもを産み、今まで、つばに育ててくださった、お母さん、そして、今もお苦勞を続けているお母さん。兄を二人産み、そしてわたしを産み、さらに弟を産んでくださった。

でも、女は、わたしひとり。だから、母は、いつも口ぐせのように言っていた。「克彦が女だったらねえ。」と。

わたしは、克彦が、女でない交わり、ふたり分の女になるつもりだ。

わたしは、いつも、「大きくなつたら、お金をもうけて、りつぱな人間になり、たつたひとりの母親を、よこせば、らくにして上げたい。」と、思っているのです。

でも、いくら、こんなことを思っても、いざ実行しようと言つていっても、いざ実行しようと言つていなくても、ついにわすれてしまふことになってしまいます。

(作文は、原文のまま掲載しました)

広報文芸

雨の日のこと

雨の中を自転車で帰る途中、「おぼちゃん」とかわいい声がおつかけてきた。自転車をとめて、私はほほえみかけた。

今までは、私が話かけてもたまつてなにもいわなかつた子であつた。

ふと雨の日のことを思い出した。その日は参観日で、学校の近くの道を自転車で走つていたら

「おぼちゃん」と親しそうに呼んでくれたことが、私には、この上もなくうれしかった。

保育園まで、送つていかれるのかなと思いつきながら、ついでは、「うるしに乗りなさい」と声をかけ、おじいさんから女の子をあずかり、自転車で、保育園までつれて行つた。

(三好光子主婦
愛媛新聞から)

告知板

納税者の声を聞く

十一月一日から十日まで、全国にわたって「納税者の声を聞く」といふ題目で「納税者の声を聞く」運動が展開されます。

この運動は、税務に対する納税者の意見を広く全国から集めて、税務行政改善の資料とし、苦情の解決を図つて、税務署との相互信頼の度を高めることを目的としたものです。

個々の税金に対する不満も相当なものであると考えられますので、この機会に納税者の税金についての意見や苦情などを、どしどし発表いたします。

秋の防犯運動に協力

秋祭りや、観光シーズンをひかえて、警察では、今月いっぱい「秋の防犯運動強調月間」と定め防犯活動の徹底をはかることになりました。

重点目標として

- ① 小暴力と迷惑行為の追放。
- ② 自転車を中心とした盗難防止
- ③ 少年非行の追放。などをかき、農繁期や、秋祭りには、「あき果ねらい」をはじめ、盗難がぐつとふえるため、①、②、③を必ず置く。
- ④ 未登録自転車の一掃、などを中心として、みなさんに、協力を呼びかけています。

中野松夫氏は、母校が忘れがたく、郷土の児童のために、今回寄贈していただくことになつたものです。

喜多灘小学校では、このことを児童に伝え、「少年少女よもうり新聞」および、「写真ニュース」を、大いに役立たせたいと念じています。(喜多灘小学校々報 第十二号から)

お年玉つき年賀はがき

ことしのお年玉つき年賀はがきは、例年より若干早められて、十一月十二日から、全国いっせいに売り出されます。

香典返しを寄附

町長は、先般なくなられた、祖父、重利氏の香典返しのかわりに五万円を、「長浜町社会福祉協議会」の事業費に充当してほしい。」と町社会福祉協議会(会長は、新山山津氏)へ寄付しました。

学級園ができました

喜多灘小学校では、夏休み中に校門を入つた、すぐ右手に「学級園」ができました。

いままでは、校舎の裏山の中にあつて、不便な上に、せまく、さらに、赤土のため、学級園としては、あまり役に立っていませんでした。

今回新しくできた学級園は、五年生と六年生、さらに先生が、やけつくような炎天下で、汗だくの奉仕でできたものです。

この学級園は、一年生から、四年生までの学級園ですが、四季を通じて、美しい草花が、グラウンドの片すみで、子供たちの元気に遊ぶ姿を見つめる日も近いことでしょう。

納税者の声を聞く

11月1日～11月10日まで

「きょうぼくに
耳のぞきごと
よくして
おききしよう」

母校の児童に読ませて

中野松夫氏(喜多灘校出身で、

現在、東京で、金属会社取締役社長)は、「母校の児童に読ませてください。」と、「少年少女よもうり新聞」および、「写真ニュース」を八月一日から一年間寄贈していただくことになりました。

中野松夫氏は、大字黒田の生れで、大正十五年四月一日、喜多灘尋常高等小学校黒田分校に入学四年生からは、長浜校へ通学されました。

中野松夫氏は、母校が忘れがたく、郷土の児童のために、今回寄贈していただくことになつたものです。

喜多灘小学校では、このことを児童に伝え、「少年少女よもうり新聞」および、「写真ニュース」を、大いに役立たせたいと念じています。(喜多灘小学校々報 第十二号から)

編集室

秋深く見ゆる垣根や
えびかすら 奥月
十一月七日は立冬です。色々と仕事に追いまわされていられるうちに、十二月になつてしまふから、かぎをひかないように十分気を付けてください。

寒さに向つて、とくに主婦がなやますのは手の荒れ。冬だからしよがらないとあきらめがちですが、いまから用心すればかなりふせげられるのです。

洗濯や炊事などは、必ず水分をふきとつて、ワセリンか、ハンドクリームをぬりましょう。

つきに大切なことは、手をいっつも清潔にしておくことです。よどめを皮膚にしみこませておくこと、そこから、ヒビ割れになりがちです。

木の葉が色づいてくると、酒の味は格段とうまくなつてくるもの。つい飲み過ぎると、酔つ払い運転など、事故をおこす原因ともなつてきます。

事故をおこしてからでは、とりかえしがつきません。

事故を祈る子があり
妻がある。